

なごみ

仙台市立仙台青陵中等教育学校
第3学年通信 No.6
R2. 6. 5 (金)

作文「3年生の抱負」の紹介

6月1日(月)より学校が再開し、3年生としての抱負を書きました。紹介したいと思います。

「3年生の抱負」

前期最高学年。何だか堅苦しいような、うれしいような、そんな年になってしまいました。桜の下で元気に笑って撮ったあの写真からもう三年が経つのかと思うと、あっという間だったなと感じています。この三年という節目の時期に私に何ができるのか。二つ考えたことがあります。

一つ目は、毎日勉強する習慣をつけることです。今年は新生活が始まるというときにコロナウイルスによるパンデミックが起きました。現に今も続いています。自粛要請が出され、私も学校再開までは正直不安ばかりで勉強とは無縁の生活を送っていました。しかし、そんな不安と比例するように課題はたまっていきました。今自分にできることを考えたとき、目の前に山積みになった課題が飛び込んできました。そのとき、不安ばかりで前を向けてなかったのだと気づきました。これからも不安はあるかもしれませんが、でも、今の自分が未来の自分のためにできることを考え、毎日の学習が定着できるように頑張ります。

二つ目は責任感をもつことです。前期最高学年という言葉が痛いほど耳にしますが、改めて考えるとより現実味が増していきました。部活動でも縦割りでも「一番上」になるわけですから、それなりの責任感を背負わなければならないなと思いました。コロナウイルスの影響でどこまで後輩と関わられるかは分かりませんが、先輩として未来の明るい選択肢をつくってあげられるような人になりたいです。

来年は後期生になります。実感なんて感じる余裕もなかったですし、不安ばかりの毎日です。しかし、今の私にできることを常に考え、明るく生きていけるようにこれからの一年、悔いなく過ごしていきます。

「今だからこそ」

新型コロナウイルスによる長い臨時休校が終わり、学校も少しずつだが、もとの姿に戻ってきているような気がする。連日テレビなどで学校再開が報じられるのを見て、どこかホッとしている自分がある。それと同時にかつての「普通」はもう戻らないのだと気づく自分もある。この休校期間中、いかに日常がありがたいものか、友達に会い、話し、遊び、共に学ぶことが大切でかけがえのないものなのかに気づかされた。そして何より、先生方に教えてもらい授業を受けられるということが幸せなことだと感じた。今このような状況だからこそ、日々出会う人、隣人、当たり前だと思っていることに感謝し、生活していくべきだと思う。これからの一年、今まで通りにはきっとならないだろうし、その辛い状況を乗り越えなくてはならない。そんなとき、いつもそばにいてくれる友人、先生方、家族、すべての人に感謝し、共に乗り越えようとするその姿勢を大切にしなければならない。今だからこそ、自分の行動を見直し、改めようと思う。当たり前が当たり前ではなくなった今、僕は普段たくさんの人からもらっている恩恵に感謝し、同時に自分も誰かを支えてあげられる人になりたい。そのために僕たち生徒は、何ができるのだろうか。まず自分の与えられている学習環境に感謝し、そこで自分のベストを尽くすこと、部活や課外など様々なチャンスを自分の手でつかむことなど、たくさんことができる。そして僕は「誰かのために」という気持ちが一番大切だと思う。手洗い、うがいをすること、ソーシャルディスタンスを保つこと、これらすべてが自分だけでなく、周りの誰かの命を守る行動なのである。今このような時だから直接何かをしてあげることはいかならないかもしれない。しかし、一つ一つの行動が誰かを救うということを絶対に忘れてはならない。これらを守り、より充実した学校生活を送りたい。

「前期最高学年として」

三年生。その立場の眺めが四、五月の私には分からなかった。ずっと家において、学年が一つ上がったという実感が沸かなかつたからだ。しかし六月になった今、学校が再開し、三年生という自覚や実感が分かってきていると思う。だから私は、三年生で気を付けたいこと、頑張りたいことが二つある。

一つ目は、「自分に甘えないこと」だ。私は「後でやろう」や「もう大丈夫」と自分で制限していたところがあった。すぐ自分に甘えて、休憩を長くしたり、諦めたりしてしまうことも多かった。勉強より好きなこと、自分がやりたいことを優先してしまっていたのだ。だから三年生では、自制心を持って集中力、持続力を高めていきたいと思う。自分に厳しくするのは、すぐには出来ないかもしれないが、しっかり対策をしていきたい。

二つ目は、自ら積極的に行動することだ。二年生の時にも「積極的になろう」と思っていた。しかし三年生では、「自ら」積極的にになりたい。二年生では、友達や部活の先輩に背中を押してもらっていた。三年生は、前期最高学年だ。その自覚を高めるため、自ら主体的に行動して、後輩に三年生らしい態度を見せられるように頑張りたい。

三年生になって二ヶ月。これからも臨機応変にしなくてはいけないことが多いかもしれない。私は、私が決めたこの決意をしっかり守って前期課程最後の学年で勉強も部活も走り抜いていきたいと思う。

「三年生の抱負」

仙台青陵中等教育学校に入学して、あっという間に時が流れ、私は三年生になった。三年生は前期から後期になるにあたってとても重要な学年だ。だから私は、学習面、生活面、先輩としての三つのことに目標をかかげたいと思う。

まず、一つ目は、学習面についてだ。後期の学習内容は前期で学習したことが土台となる。すなわち、前期の学習内容で分からないところがあると、後期の学習で困るということだ。だから私はしっかりと、一年生、二年生で学習したところを復習していきたいと思う。これは、後期の学習だけでなく大学受験にも役立つと思う。

次に、生活面についてだ。私は、いつも寝る時間が遅く、朝になると起きることができない。そのため、いつも時間に余裕がなく、ギリギリの時間で家を飛び出して学校に通っている。そのため、午前中の授業ではいつも疲れてしまう。だから私は、この生活習慣を改善したいと思った。よって、三年生での生活面の目標は「早寝早起き」だ。

そして最後は、先輩としての目標だ。前期の最高学年になった今、私は改めて先輩としての自覚をもった。私は、一、二年生の頃、三年生を見習って生活を送っていた。だから私も三年生になり、先輩の手本にならなくてはならないという意識ができた。だから、私は学校生活や部活で後輩に対して正しい行動を示したいと思った。

以上の三つの目標が私の三年生としての抱負だ。これを常に意識して前期最高学年の誇りをもって、一日一日を楽しく生活していきたい。

仙台市標準学力検査「学習状況調査」の実施について

例年4月に仙台市標準学力検査（国語，社会，数学，理科，英語，学習状況調査）を実施し，夏休みの三者面談でその結果をお渡ししていましたが，本年度は「学習状況調査」のみを実施いたします。6月24日（水）の授業の時間を予定しています。

フェイスシールドの購入について

学校が再開し、笑顔で学校生活を送っている生徒の姿を見ることができ、大変うれしく思っています。また、保護者の皆様には、新型コロナウイルス感染予防の対策に、ご協力とご理解をいただきまして感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染予防のさらなる対策として、生徒一人一人にフェイスシールドを配付していきたいと考えています。できる限り話し合い活動やペア学習などの授業形態はしない予定ではありますが、授業の形態によっては、フェイスシールドを使用して授業を行っていききたいと思っております。フェイスシールドの値段は、一人あたり約70円です。購入につきましては、学年費の学年活動費から支出したいと考えております。何卒、ご理解とご協力をお願いいたします。